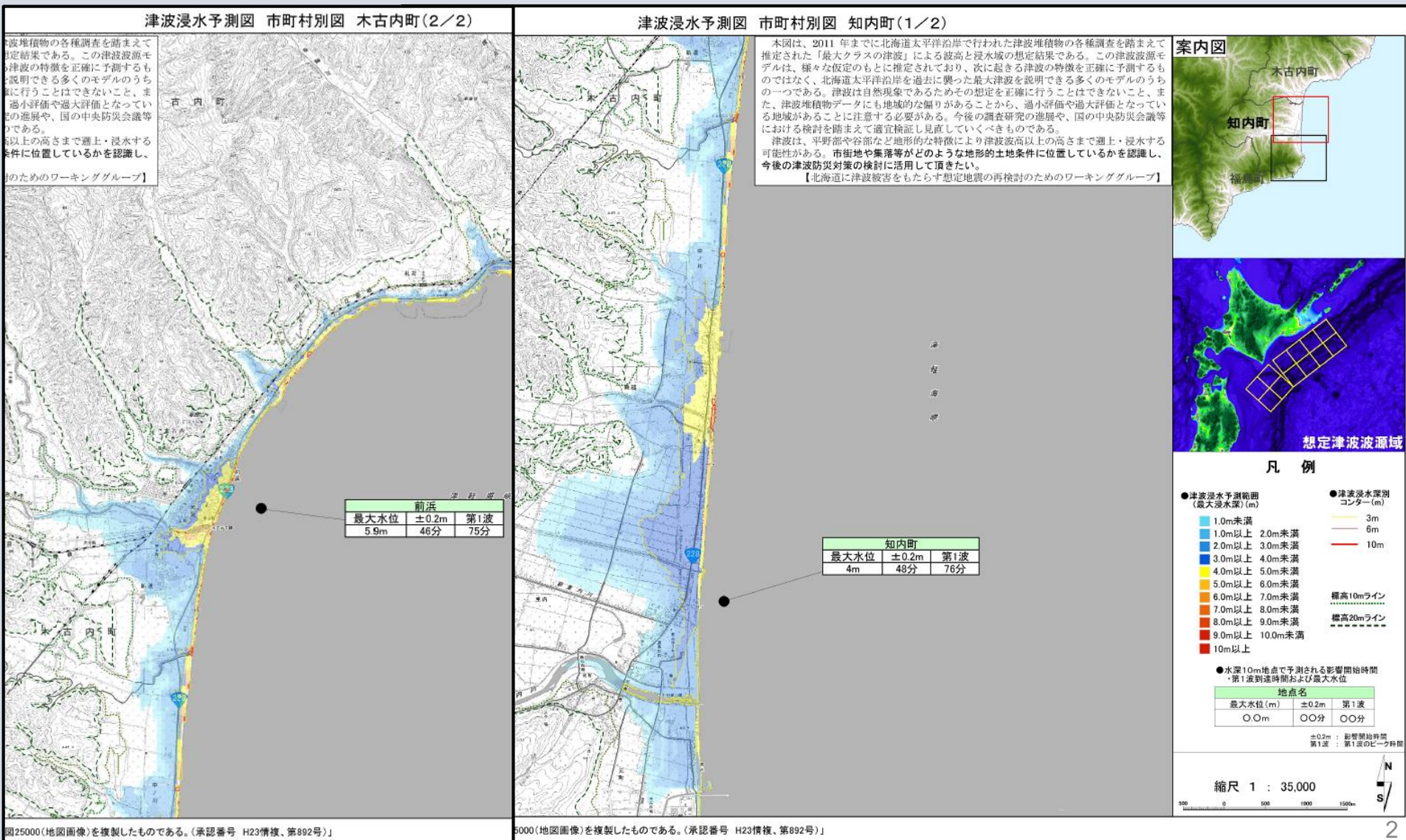


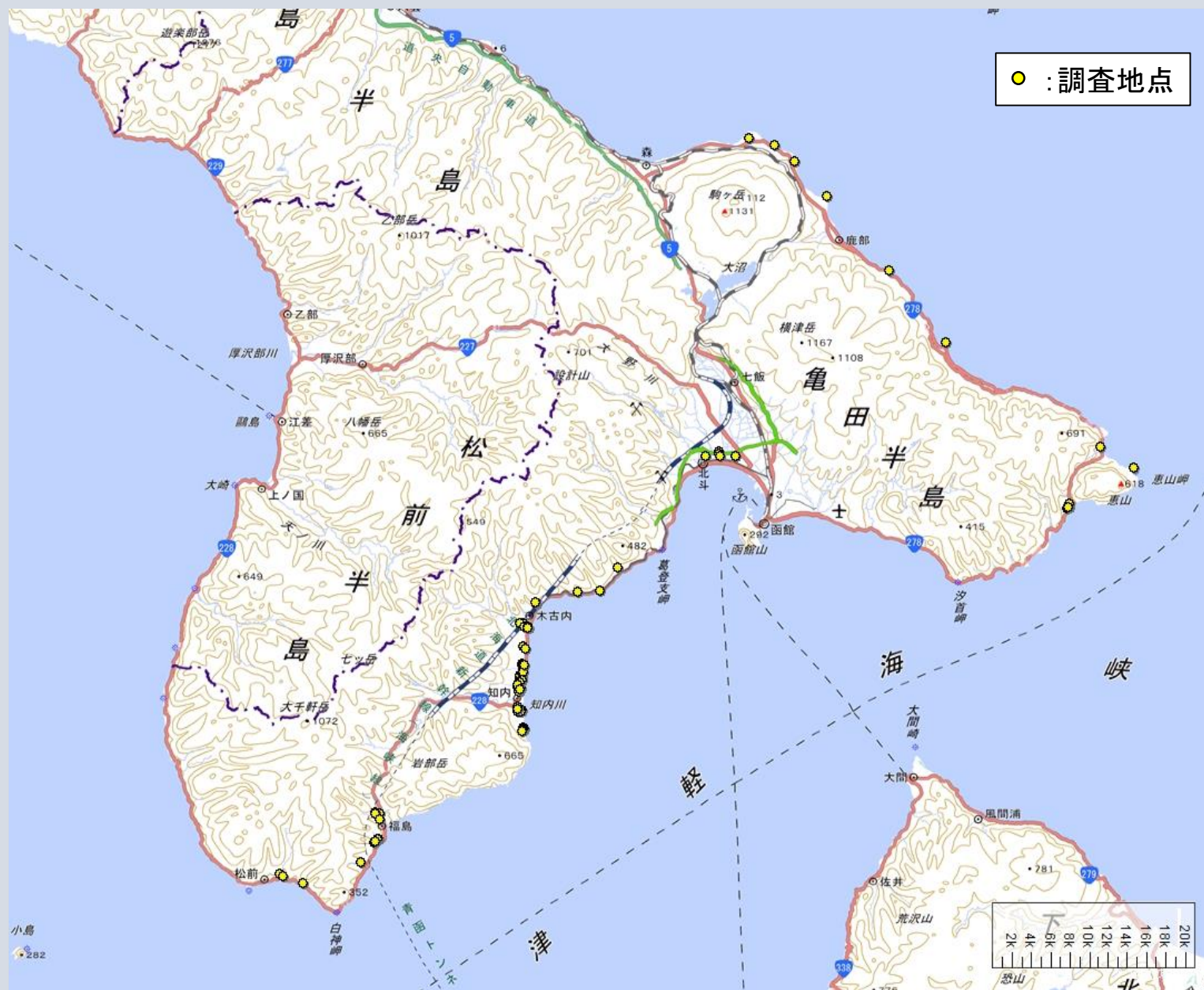
道受託研究：津軽海峡沿岸域における 津波堆積物調査

津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査

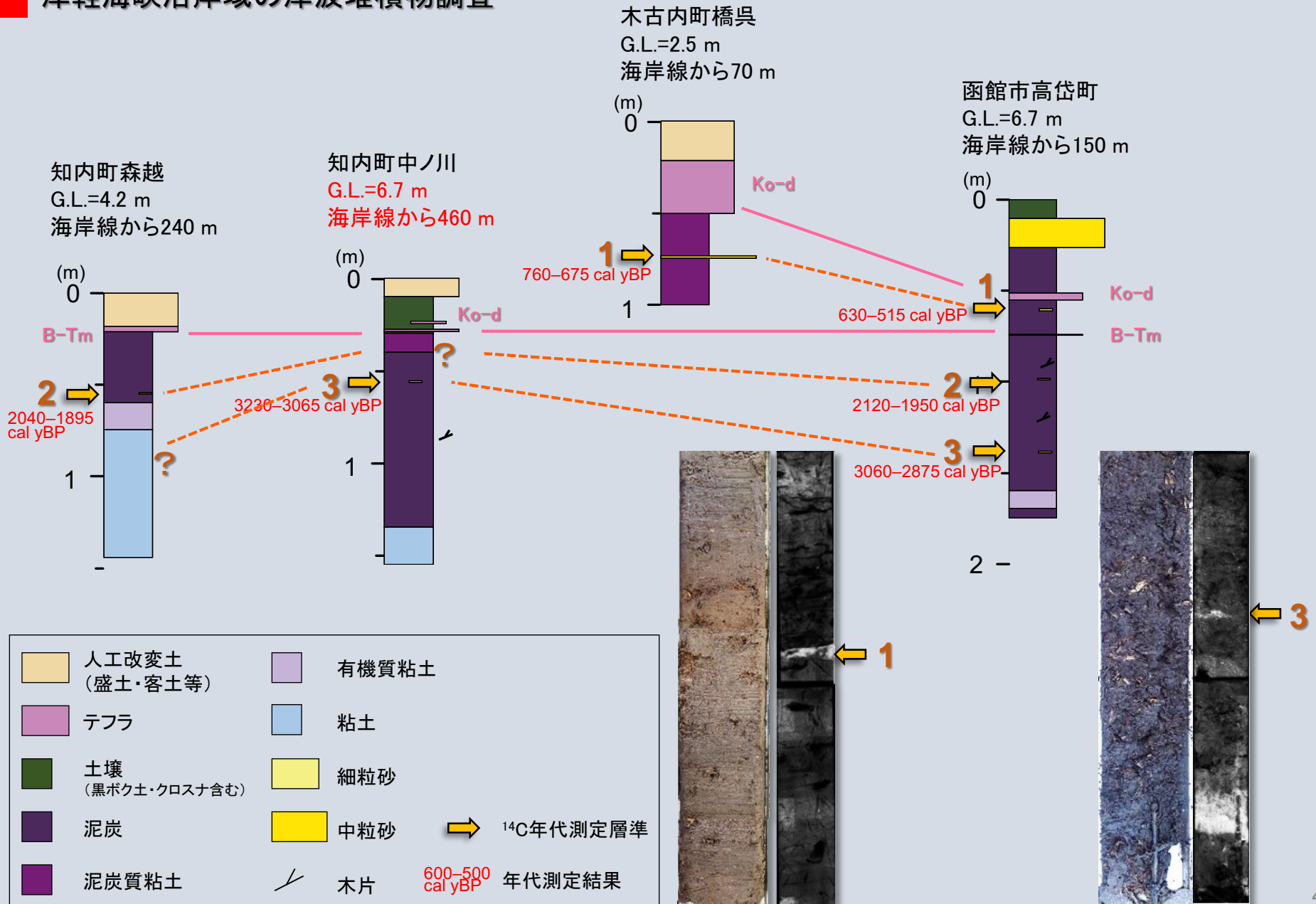
太平洋側の巨大津波により津軽海峡の奥でも広く浸水→想定の妥当性の検討が必要



津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査



津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査



津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査

【イベント堆積物の対比】



現在

駒ヶ岳d火山灰(Ko-d)

(西暦1640年)

17世紀頃(道東・日高・胆振・
噴火湾・下北)

イベント砂層1

12世紀後半～15世紀

白頭山ー苫小牧火山灰(B-Tm)

(約1000年前)

イベント砂層2

(約2000年前)

イベント砂層3

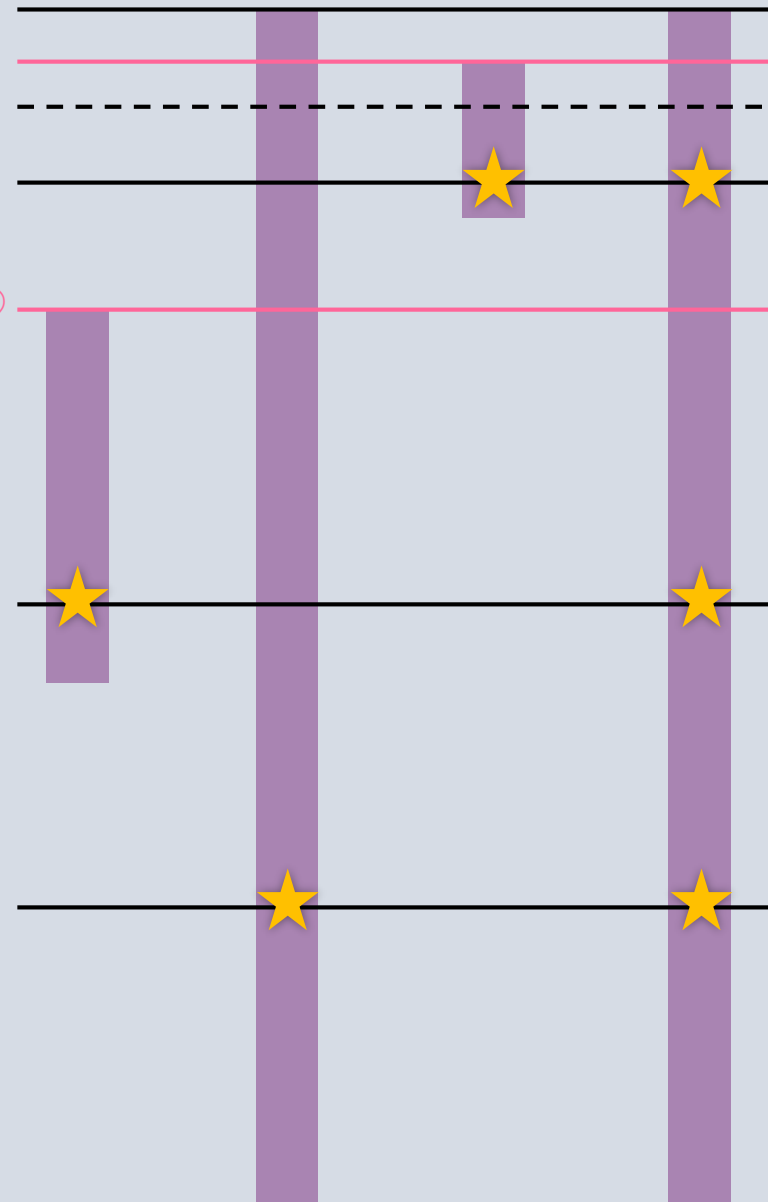
(約3000年前)

知内町
森越

知内町
中ノ川

木古内町
橋呉

函館市
高岱町



津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査

- ◆ 北海道～青森県の太平洋沿岸で広く知られる**17世紀の津波堆積物**は、津軽海峡沿岸では**確認できない**。
- ◆ **12～15世紀の津波イベント**は下北半島および北海道東部で知られており、いずれか、もしくは両者に**対比できる可能性**がある。
- ◆ 2000年前頃のイベントは北海道東部では知られているが、下北半島では未確認。
- ◆ 3000年前頃のイベントは、北海道東部と対比できそうだが、下北半島では年代決定精度が悪く、対比できるか判断できない。
- ◆ **H24浸水想定**は17世紀の津波をモデルにした計算ではあるが、過去に別の津波による浸水があった可能性が示されたことから、**防災上の想定としては妥当**と判断される。

